



京都支部

## 2016年度支部活動報告



1. <2016.04.16 支部総会>
2. <2016.06.23 フィンランド・ラーテイ支部からのお客様>
3. <2016.06.25 2016年度第1回例会 NO.1 NO.2>
4. <2016.09.24 2016年度第2回例会報告>
5. <2016.11.16-17 香港大学女性協会 JuliaWoo 会長が京都支部を訪問>
6. <2016.11.16 2016年度第3回例会報告>
7. <2017.01.28 新春のつどい>
8. <2017.03.13 2016年度第4回例会>

### 1. JAUW京都支部 総会開催

2016年4月16日

今年度の総会は例年通り、ウイングス京都で開催しました。書記（中川慶子）の司会進行で開会。出席者16名、書面による信任14名で総会が成立していることを確認。

#### 久保支部長の挨拶

まず初めに、この度の熊本地震により大きな被害を受けられ犠牲になられた多くの方々に心よりお悔やみ、お見舞いを申し上げますとおもいます。大学女性協会中村会長も熊本支部へお見舞いメールを送られ、熊本支部長から皆無事ですとのメールが返信されていました。本当に良かったです。



私達は本日、お陰様で無事に2016年度京都支部総会を開催することが出来ました。お忙しい中、たくさんの会員の皆様のご出席を頂きありがとうございます。

昨年度2015年度も、皆様のご協力により支部活動を無事に終えることが出来ました。引き続き今年度も、生き生きと楽しく参加できる例会を目指して、意義ある支部活動を計画したいと思いますので皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。

会員増強は今年度も2名を目標にしています。新しい若い会員にも大いに活躍をしてい

ただき、京都支部の古き良きものは残しつつ、新しい時代に見合うものを考えていく機会を作ることが出来ればと思います。

次世代のためにも良き環境を整え、しっかりとバトンタッチをして、更に支部活動の魅力を引き出すことが出来るようにと願っています。どうぞ皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます

久保支部長が総会の議長を務め、下記の議案は承認されました。

1. 前年度の事業報告並びに会計報告案の承認、監査報告
2. 今年度の事業計画並びに予算案の承認

席上、配布された冊子「2015年度の活動報告」は今回からA4サイズの大判となり、文字も拡大、内容も「会員の寄稿」や「電話でこんにちは」「役員からひと言」を設けるなどで増ページとなりました。

総会後は昼食、記念講演会と続き、最後に「国内奨学生応募学生支援のためのミニバザー」を開催、季節の竹の子が出品されるなど、たくさんのバザー品が出そろい賑わいました。約3万円の収益金がありました。

#### 記念講演 テーマ 企業人生を振り返る ―介護事業とともに歩む―

(有)スマイルケア代表 荒井 祐子氏

今回は、男女同一賃金などを実践し、女性の目線で会社経営を行なう福祉業界で大活躍中の荒井祐子様にお話を伺います。

プロフィール 1957年生まれ、1976年、富士銀行入行し8年間勤務後、結婚を機に退職。1989年(有)荒井精機で福祉用具販売事業開始。2000年、介護保険福祉用具貸与事業開始、2002年(有)スマイルケアに社名を変更、代表取締役就任し現在に至る。2015年、会社設立25周年を記念して、展示・研修館を開設。  
現在、国において要介護者の増加、財政難を理由に、現行の介護保険の仕組みを変え、「要介護度軽度者」を介護保険の対象から外そうとする動きがある中で、全国組織である福祉用具国民会議のメンバーとして「現行の仕組みを維持してください」と署名活動に取り組んでいる。

#### 会社の現況

まず、戦後70年近く高い理念のもとに活動されてきた大学女性協会の皆様に敬意を表します。今日の講演に際して京都支部の活動報告書を読ませて頂きました。

私の会社は男21名、女15名計36名の小さな会社です。今、皆様に見ていただいているカタログの表紙の絵は女性社員が書いたものです。こんな才能を持った社員がいるのでその才能を大いに活かしています。社員は半分以上が20歳代、この7年間毎年、新規採用をしてきました。目標は男女半々の会社を作ること。女性の目線で会社が動く素晴らしい。女性目線で見ると男性は窮屈に思うようだが、女性に合わせて例えば冷房は弱くし、休憩室やロッカーも広くしている。環境整備も女性優遇です。このようなことを会社説明会でするので女性の応募者は結構多い。新規採用者を見ると、女性の方がやる気があって生き生きしている。男性はそれに比べて幼い感じがするが、5年もたてば鍛えられて変わっていきます。一般的に男性は個を尊重し、女性は横のつながりを求めてグループを作りたがる傾向があるようだ。会社としては、女性目線の明るくてきれいな会社を目指したい。府下に同業者が100社ほどあるが女性のトップは1割もいませんね。



女性が働くと出産、育児、介護などの問題が出てくる。この対策として、就労環境に配慮しいろいろと整備をしている。昨年初めて7年目にして育休取得者が出た。彼女がもうすぐ戻ってくる。会社としても初めてのことなので、育児と仕事の両立ができるよう、応援し見守ろうと思っている。彼女は伏見区に居住しており保育所に入所できた。4月1日から復職かと思いきや、子どもが保育所に慣れる期間があるということで、4月21日になった。本来は9時から6時の就業時間を、彼女には希望する8時30分から5時30分に変更し働きやすくした。これぐらいの配慮は必要で、しっかりと働いてほしいと思っている。保育所のお迎えに母親ができなかったら私が迎えに行っても良いとも思っているぐらいです（笑い）。

福祉用具の会社とは



介護保険の在宅サービスの一つとして福祉用具の貸与や購入、住宅改修という制度があります。たとえば、大腿部骨折の場合、入院治療後、退院となり在宅生活が始まります。もちろん、リハビリが必要です。退院後の生活をしやすくするために生活環境を整備する必要があります。ケアマネジャーが本人や家族の相談にのる時に、私たちもケアマネに同行して家庭訪問を行い本人の状態や意向をよく聞きます。玄関、風呂、トイレなどその方の生活に即して、室内の歩行には歩行器、布団からベッドに変更していただくなどそれぞれの住環境や暮らしに合わせて福祉用具を用意します。段差の解消や手すりの設置など、

住宅改修の必要な場合もあります。このように在宅復帰されたときに安全にお過ごしいただく為に環境整備をするのが私たちの仕事です。

スタッフには必要な資格をどしどし取らせてキャリアアップをさせます。福祉用具専門相談員、住環境コーディネーター、福祉用具選定技能士、福祉用具プランナーから1級建築士まで全員が複数の資格を持っています。

貸与した福祉用具を回収したのちは、会社内で洗浄・消毒・点検・補修・管理をします。重たいベッドなどもあり男性を中心に作業をしていますが、女性目線を加えることできめ細かな仕事ができます。

賃金、昇格にも一切男女格差なし、小さいながらも平等に取り組んでいます。常時、2000点の福祉用具レンタル在庫を倉庫に用意しています。これだけ多くの用具を本社倉庫に持っているところは少ないです。もちろん実際に来社していただければ展示室で体験ができます。

#### 母のこと・結婚のこと

実母は昭和5年生まれ、85歳。介護度3、認知症で2年前から我が家に同居しています。実母は7人兄弟の3番目でとにかく働き者で、清水焼の絵付けの仕事をしていました。両親は仲がよかったが、父は宵越しの金を持たない人だった。母は、夜中までは家計のために一生懸命働いていた。父は55歳の時に喉頭がんで亡くなった。私は母の姿を見て育った。女は働くものと思っていた。

昭和51年、オイルショックの時代に銀行に採用された。当時は24～26歳で寿退社するのが普通だった。私も26歳で結婚し銀行を辞めた。裕福でない家庭に育ったので商売人と結婚したいと思っていた。主人は二代続く鉄工所を営んでいた。両親と同居だった。直ぐに長女が生まれたが、姑が「ゆうちゃん、3歳までは子どもを見てやりなさい」といつてくれた。2年後に長男が生まれた。この子が3歳になるまでは育児中心の生活だった。同居していた主人の母は現在94歳で、2年前に要介護4になり仕事と介護が難しくなり、グループホームに入所した。

#### この仕事に入ったきっかけ・福祉産業に参入

会社（工作機械を中心とした機械加工業）は、大手からの下請け賃加工の町工場で、その頃バブルがはじけ、仕事量は海外に持っていかれ3分の1に減ってしまっていた。ちょうど主人の父の友人が脳梗塞で倒れて、自宅の風呂に入れないので、リフトをつくってほしいという話があった。鉄工所にはウインチという機械があり、これをヒントにリフト開発を手掛けこれがきっかけで福祉産業に参入していくことになる。

車いすの修理なども頼まれ、2〜3週間もかかる修理をすぐに修繕したので喜ばれた。施設などへ営業の仕事は私が担当した。販路拡張は私の出番だった。1993年、入浴介助リフト研究開発に対して京都府より助成金を受給することになる。こんなことから京都府の方から障害者給付事業指定のことを聞き、身体障害者車いす製作・修理、日常生活用具給付事業を開始した。自治体からお金をもらえる貸し倒れのない制度ビジネスの存在を初めて知った。車いすの製造を1台、2台と始めた。32歳の時だった。そして京都府下で2番目になるまで成長した。「荒井精機」は自治体では知られるようになっていた。

その後、2000年4月の介護保険制度施行に伴い、京都府より介護保険福祉用具貸与事業所指定を受ける。2001年、長岡京市井ノ内に移転、中古の社屋を購入し開設することになる。2002年、「有限会社荒井精機」より分離独立し、社名を「有限会社スマイルケア」に変更した。さらに2011年、事業拡大に伴い、長岡京市神足に本社を移転し、2015年に本社の隣に展示・研修館を建設した。

介護保険開始以前は、主人の母を含め家族で経営していたが、以後は、1人増え、2人増えて現在では36人になった。主人の母がいてくれたから安心して営業に出かけられた。高齢者から夜8時を過ぎてからもおむつの配達依頼がある。断わりきれず配達をすると大変喜ばれる。常に追われる感じで人の2倍は働いてきたように思う。丈夫に健康に育ててくれたと実母に感謝する。

主人は、「荒井精機」で頑張っています。家のことはあまりしてくれないので多少の不満はありますね。

#### 仕事と二人の母の介護

主人の母は現在94歳。よく頑張って働いてくれた。主人の母の存在は大きい。92歳の時に認知症で介護度4となった。仕事の合間に安否確認のため家に見に帰ったことも再三あった。デイサービスやヘルパーを拒否する人だった。介護に限界をきたし現在は、グループホームに入所している。同じ頃、実母も要介護状態となり我が家に引き取り同居した。半年間、要介護の2人の母との生活は何が何やらわからないほど、大変だったが、フルタイムで働きながら忙しいなりにこなした。よくやったと思う。

#### ワークライフバランス

私の生活はすべて仕事だった。主人の母とともに働き、夜ご飯もつくる間もないほど多忙だった。遅くにスーパーに走って惣菜を買いに行くような毎日だった。今はなんでも便利になっているが、当時はずいぶん違っていましたね。

### 女性活躍推進法のこと

本年4月1日にこの法律は施行されたが、これは従業員300人以上の企業や自治体に適用される。すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定や女性の職業選択に資する情報の公表などが事業主に義務付けられている。300人未満は努力義務である。小さな会社でも達成すると補助金が出るようだが、この法律により女性のいろいろの課題が実践され、女性の未来が開けてくるとは思われないうえ。どうなのでしょう。

### これからのこと

来年60歳を迎える。息子が成長してきたので会社を引き継ぎ、委ねたいと思っています。社員が元気に定年まで働けるように保育所も作りたいなど思ったりしています。

以上

### 講演が終わって

講師の荒井祐子様のお話は親しみやすい口調で途切れることなく続きました。お肌もつやつやでお元気、年齢を聞いて一同びっくり。現役バリバリで活躍されていることがよくわかります。介護保険法の改正の動向やすでに一部の人は自己負担金が1割から2割になっている現状などについても話して下さいました。また、新しい介護用ベッドの紹介がありました。

会員からは、介護と仕事の両立の悩み、社員育成の課題、介護ロボットと介護労働の軽減などの質問があり、また現在、要介護状況の家族を抱えている会員の悩みが出るなど、身近な問題について真剣に話し合いました。最後に荒井様の署名活動にも協力をしました。

### 荒井様からの後日報告

署名活動が実り、5月京都市議会で「次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書」が採択され、平成28年6月3日、衆参院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣宛に提出されたということです。

(文責：中川慶子)

## 2. フィンランド・ラーティ大学女性協会からのお客様

2016年6月23日

Arja Pelliniemiさんという方から阪田敦子会員のパソコンに「visit from Lahti」という題で次のようなメールが届いたのは6月16日の夜遅くだった。——「私はラーティ大学女性協会の会員です。あなたのイーメール・アドレスは、私の長年の友人イーヴァ・ホンカサロさんから聞きました。私は、夫、息子夫婦とその1歳半になる息子と、6月20日から25日まで京都モントレイホテルに滞在し、それから箱根に発ちます。私は大学女性協会の熱心な会員ではありませんが、外国人女性にフィンランド語を教える会の活動には参加しています。私は英語とスウェーデン語の講師、夫は医者、息子は弁護士、彼の妻は法律を勉強中です。ラーティと京都との関係はつい最近知ったので、こんなに遅くなりましたが、メールをお送りしています。」



阪田会員は、とりあえず支部長、副支部長、書記、国際委員にメールを転送して、どうしたものかと皆の意見を聞いた。久保支部長を始め大方の意見は、25日（土）に行われる支部例会「留学生を招いてのシンポジウム」に彼女を招待して、私たちの活動の一端を見てもらい、そのあと彼女に挨拶をお願いして、少しの間でも出席会員との交流が持て

れば、それが一番いいのではないかと、いうものだったが、とりあえず彼女の京都での予定が分からないので、メールを送って聞いたらどうかということになった。それでメールを送ったが、なしのつぶて（後で聞けば、出発したあとだった）。阪田会員は、1994年にご夫妻でフィンランドを旅行なさった時、ラーティにも立ち寄り、会長ホンカサロさん、京都とラーティとのペアリングの提案者である日本美術の専門家ソニア・セルヴォマさんなど、3～4人の会員とお会いになっている。1995年に横浜で国際大学女性連盟（IFUW）の国際会議が開催された時、ホンカサロさんは会長としてそれに参加し、会議後の旅行で京都を訪れ、阪田会員の家にホームステイをなさった。それ以来彼女と交流のある阪田ご夫妻は、メールを送ってきたホンカサロさんの友人アルジャ・ペリニエミさんにご挨拶のために到着日20日の夕方ホテルにいらっしゃるといので、その時に彼女の京都での予定を聞いてもらうことにした。その結果、25日には京都を出発するので、都合が良いのは23日ということが分かった。急きょ会員の都合を聞き、高橋副支部長、廣田会員、国際委員の阪田と中川、計4名が参加し、中村会員は昼食後少しの間加わるということになった。

### 【京都支部とラーティとのつながり】

ご夫妻には京都平安ホテルの和食どころ「帆船」でお昼をご馳走することになり、阪田会員にホテルまで迎えに行ってもらった。手籠弁当が美しく並べられたテーブルに全員が座り、高橋副支部長がまず歓迎の挨拶を申しあげた。——「ペリニエミさんの京都訪問を歓迎し、ご一緒にお食事したり、京都をご案内できる機会を得たことをうれしく思っています。これもこれまで双方の先輩会員の方々が、京都とラーティ大学女性協会との関係を大切に繋いでくださったお蔭と思います。JAUWならではのこの機会を大切に、お互いの情報を交換しながら、心温まる時間を共有したいものと考えます。十分なおもてなしは出来ませんが、これからの半日ごゆっくりお過ごしくださいますよう。」

そのあとペリニエミさんがお礼の挨拶をなされた。——「私はアルジャ・ペリニエミと申します。今日は京都支部の皆さんがどのように私たち夫婦をお招き下さってありがとうございます。私は職業学校で英語とスウェーデン語の講師をしていました。言語学の修士号もっています。私が70歳になったので、息子がその記念にこの旅行をプレゼントしてくれました。もっとも費用は全部私が出しましたが。それで私たち夫婦と息子の家族3人の5人で旅行しています。京都では伏見稲荷、二条城、金閣寺、京都御所などに行きました。私は仕事をもっていたので、ラーティ大学女性協会ではあまり熱心な会員ではありませんでしたが、私の長年の友人のホンカサロさんからラーティと京都とのペアリングの関係をごく最近聞き、メールをお送りしたところ、このような会合にお招きいただき、とても感謝しています。出発前に京都からの毎年の支部活動報告を興味深く読みました。」

### 【ラーティの冬の寒さ 何と今年は -32°】

梅酒で乾杯をして食事を始めた。お2人とも少し太っていらっしゃり、北欧の方らしく穏やかな印象だった。ご主人がアイパッドをご持参で、ご家族、子供さん、お孫さんの写真などをたくさん見せてくれたので、ラーティでの彼らの生活の具体的なイメージを持つことができた。興味深かったのは、-32°Cを指す寒暖計とご自宅の家の前の1.5メートルの高さの雪のスロープの写真だった。冬のラーティの寒さは平均 -4°~-10°Cだそうだから、今年の-32°Cは50年来の異常な寒さだったということが分かるが、雪のスロープを乗り越えて家の玄関から出入りするのだが、まず外には出られない寒さだったとのことである。また、別荘の庭にあるサウナ小屋のそばに小さな池があり、その水面にぷくぷく泡が出ている写真があった。泡を出す機器を入れて、絶えず泡を出すことで池の水面の氷結を防いでいるのだそうである。そうまでしてサウナに入り、そのあと池に飛び込みたい北欧の人の気持がもうひとつ理解できないというのが正直な感想ではあるが。



ストが美しい日本ナスの浅漬けの漬物を思い浮かべた。

その他色々な話題に興じながら、お食事をいただいた。てんぷらはまだ食べたことがないとのことだったが、ナスの話になり、フィンランドのナスは日本のその3倍も大きいというので驚いた。北欧の夏は白夜で太陽がいつまでも照っている、それを吸収して大きくなるとのこと。また、それをジャムにするというのでさらに驚いた。ナス紺の皮と白い中身のコントラ

#### 【フィンランドの教育・フィンランド語・IFUW】

彼女は言語学の修士で、職業学校で英語とスウェーデン語の講師だったということで、フィンランドの教育制度やフィンランド語のことが話題になった。フィンランドの公用語はフィンランド語とスウェーデン語だが、英語は必修言語で、小中高以外の全ての学校でも英語を教えることが義務付けられているということだった。また、フィンランド語が、ヨーロッパの大部分の言語と大きく異なっているということは私たちもぼんやりとは知っていたが、ウラル語群に属し、北欧の言語や、英語・ドイツ語などのインド・ヨーロッパ語群とは文法も語彙も異なること、しかし孤立した言語ではなく、東ヨーロッパ、例えばハンガリー語と同じグループであること、一番近い言語はエストニア語であること、また、ほぼすべての綴りを発音すること（例えば、彼女の名前はArja Pelliniemiで、アルジャ・ペリニエミと発音する。（市の名前Lahtiは正しくはラハティなのだが、われわれはずっとラーティと呼んできたので、そのままにしておく））、いつも第1音節にアクセントを置くこと、などなど興味深いことを色々話してくれた。聞いていると、日本語に似ている点もあり、日本人には学習しやすい言語かもしれないと思った。

また、なぜ6月に日本にいらっしゃったのか、6月は日本では梅雨で雨が多く、観光にはあまり適してはいないが、と言うと、日本ではいつが観光シーズンなのかと聞くので、空気がさわやかで、紅葉も美しくなる11月が良いと言うと、フィンランドでは11月はジャムや保存食を作るのに忙しく、出かけられる月ではないとの返事だった。冬の寒さに備えて、色々な果物のジャムやマーマレード、キュウリのピクルスなどの保存食を作って地下室に備蓄しておくのは、今でも北欧の冬の伝統行事なのだとわかった。きっとナスのジャムも作っていることだろう。

食事が終わり、コーヒーは中庭でいただいた。そこに中村会員が、1989年にヘルシンキで開催されたIFUW（現在はGWI）の国際会議に彼女が参加した時の写真持参で加わっ

た。廣田会員、阪田会員もその会議に参加していたので、話は大いに盛り上がった。ペリニエミさんは、職業をもち、子育てがあり、親の介護もあったので、IFUWの国際会議には参加したことはないとのことだった。

### 【平安神宮の散策】

午後は平安神宮にお連れすることになり、高橋、廣田、阪田、中川がお供した。あいにく花菖蒲は終わった直後だったが、アジサイが美しく、萩は咲き始めたところで、手入れの行き届いた回遊式の庭園は充分美しかった。ご主人がお話し好きで、アイパッドから色々な写真を私たちに見せながら、ゆったりと池のほとりを散策した。

ご主人はラーティのコーラスグループのメンバーで、月に2度は舞台に立つとのこと。ラーティ・オーケストラの前で歌うタキシード姿のご主人の写真があった。歩きながらフィンランドの歌を素晴らしいバリトンで披露して下さった。また、彫刻コンテストがあり、それにも参加なさったとのこと。それは、直径1メートルぐらいの大木を、1.5メートルぐらいの長さに切ったものを渡されて、マキを割る時に使う斧を使って、そこから熊を彫りあげるという競技である。1度でも変なところに斧を入れると、やり直しのきかない難しい作業だが、何度か参加することでうまくなり、去年は5名の優秀賞受賞者のなかに入ったということで、屈強な男性5名がそれぞれ自分の彫った熊の作品を前に並んでいる写真を見せてくれた。フィンランドは「森と湖の国」として有名だが、ラーティも森が多く、嵐で多くの大木が倒れるので、その活用法の1つなのだそう。その作品は玄関の傍に置いてあるが、そこが適当な場所かどうかはまだ分からない、と奥様は微妙な言い方をなさった。

ご主人は庭園にある大木を見ては、これぐらいなら熊が彫れる、と言っていた。彼は特に松に関心を示し、ヨーロッパの松はまっすぐ上に伸びて、幹に枝は無く、先に葉が付いているだけだが、日本の松は下から枝が伸びていて、幹はまっすぐなもの、斜めにゆがんだものなど、あらゆる形態があり、とても面白いとの感想だった。日本人は特に松が好きで、その自然な形を大切にしながら、美しく見えるように毎年庭師が剪定しているという驚いていた。

### 【フィンランドのエネルギー政策・難民問題・女性の国会議員数】

池にかかった橋の途中にある休憩所で、少しのあいだ腰を下ろし、池の鯉に餌をやりながらもおしゃべりは続いた。他にも興味深い問題が話題にのぼり、原発の話も出た。フィンランドがエネルギーを得る方法の1つとして原発を維持する決定をして、そこから出る核廃棄物の貯蔵庫を、地下100メートル以上（ご主人の思い違いで、深さ500メートル以上）の深さのところにある岩盤層まで掘り下げて作っていて、そこで放射能が出なく

なるまで140年間以上貯蔵するというのは、いかにも地震の経験のないフィンランド人の発想だと興味深かった。反対はなかったのか、と聞いたのに対して、どんな問題にも反対はあるものだ、とのお返事だった。日本もエネルギーを原発に依存する決定をしているが、地震大国の日本では、フィンランドのように地中に貯蔵庫を作ることはできず、どうするかが深刻な問題になっている、とお話した。4月にフィンランドの首相が日本に来ていたが、そのことでなにか有効な助言でもあったのだろうか。

また、昨年末から今年初めにかけてEU諸国に押し寄せた大量の難民のことも話題になった。ラーティは人口が約11万ほどなのだが、かなりの数が押し寄せていて、その住居、仕事、食糧などを提供するために市は大変な状況にあるとのことだった。しかしラーティは歴史的に移民によってできた町で、そのつど活力を得て、大きくなっているの、今回もできるだけことはしている、とおっしゃっていた。日本の場合、去年難民の申請は4,000人に対して許可されたのは11人ということを見ると、あまりに違いすぎる対応である。

また、フィンランドの大学では現在は女性の数が男性より多いと教えられたので、それはフィンランドの女性国会議員数が40%を超えていることから見て不思議ではないと思う、日本では文系の場合はそのような学部もあるが、理系は圧倒的に男性が多いから、全体としては30~40%ぐらいではないか、と答えておいた。(ちなみに、日本の女性国会議員は、参院では15.7%、衆院では9.5%である。2015年9月現在)

平安神宮の散策も終わり、本殿の前に出てきた。本殿は何故朱色なのか、と聞くので、それは魔除けの色だと答えると、納得していた。お2人をタクシーでホテルまでお送りして、名残を惜しみながらお別れをした。今回は思いがけない突然のラーティからのお客様だったので、少数の会員しか参加できなかったのが残念だったが、参加した会員はそれぞれ多くの興味深い発見をしたのではないだろうか。ペリニエミさんも、これが最初の日本旅行なので多くの珍しい体験をなさったことと思う。

#### 【京都は最も素晴らしい充実した1日だった】

帰国なさってからお礼のメールが来て、あれから箱根、富士吉田に無事着いた。生憎の雨だったが、富士山を垣間見ることができた。京都支部会員と会ったことは、今回の日本旅行の最も素晴らしい経験の1つだった、と書いてあった。こちらからも返信して、ラーティからの嬉しい突然のお客様で、私たちにもとても楽しい充実した1日だった。ラーティと京都のペアリングの歴史を大切に、今後もこれが続いて行くことと願っている。京都は長い歴史的・文化的な歴史をもつ都市で、多くの神社仏閣・歴史遺産があるので、是非他の会員の方も京都に来てくださることを心からお待ちしている、と書いた。

(中川 洋子記)

### 3. 2016年度 第1回例会を 開催しました

2016年6月25日

日 時 6月25日 (土) 13:30～16:00

会 場 ウイングス京都 会議室2

#### 【内容】

1. 留学生によるシンポジウム
2. 2016年度全国総会の報告 (高橋、松田)
3. 国際交流 (フィンランド・ラーティ支部会員ペリニエム夫妻との交流報告 (中川))
4. その他報告

[出席者] 20名 (支部会員13名、 ゲスト：留学生4名、ホストファミリー3名)

#### I 留学生によるシンポジウム (13:30～15:30)

氏 名	出身地	留学先と専攻
周 悦	中 国	京大院 文学部研究科 発達心理学専攻
金 ボヒョン	韓 国	京大院 機械理工学部 メカトロニクス専攻
TRINH HAI	ベトナム	京大 工学部工業化学科3回生
SUBRAMANIYAN	インド	京大院 工学研究科 マイクロエンジニアリング専攻

司会：中川慶子、通訳：中川洋子

高橋副支部長の「今年度最初の例会にアジアからの留学生4名をお迎えし、高度な専門のことやお国の話などを伺えるのを楽しみにしている」との挨拶に始まり、4名の留学生の自己紹介、留学の動機、研究の内容などを10分程度話していただき、そのあと中川慶子司会による質問形式でシンポジウムを進行した。又ホストファミリーの方からは、いろいろの国からの留学生のお世話をすることの意義や貴重な体験などが話された。



#### 周 悦さん

出身は「蘇州夜曲」の歌で知られている蘇州。いろんな点で京都によく似ており、それが京大を選択した理由の一つ。中国で日本語を勉強した後、熊本に1年留学。この時の感じた日本人の優しさ、日本での住み易さが、続いて日本での勉学することを決心させた。あちこちの大学を見て歩き、最終的に京大を選んだ。

専攻の発達心理学は、人が生まれてから死ぬまで、この世界をどのように認識し、どのように学習して発達していくかを研究する分野で、私は赤ちゃんが生まれて音楽をどのように受け止め発達していくかをテーマにしている。

日本には熊本時代から通算して5年住んでおり又、昨年日本人と結婚したこともあって留学生であるのに、海外にいる感覚がないくらいである。

日本と中国の文化の違いの中で特に感じるのは、日本人の方が繊細で思いやりがある事。

#### 金 ホビョンさん

韓国チェジュの出身。京大院の松野研究室でロボットの研究をしている。

自分にとってのロボットはお話に出てくる魔法使いのように、人に出来ないことを手助けし人の役に立つ存在である。ロボットの学びの場を求めてインドやアメリカにも行ったが、京大を選択したのは、日本人は単なる箸一本にも魂があると思うところがあり、京大にもそういう思いを持ってロボットに対処しているのが感じられたからである。

ロボットにはいろいろあり、兵器にもなりやすい。自分が師事している京大の先生はロボットにも魂を入れた扱いをされ、ロボットは扱い方で何千人もの人を殺す事にもなる。誤った扱いの選択をしないための注意、責任があることをしっかり認識して研究することを先生から学んだ。とても尊敬している。



#### THRIN HAIさん



阪大で日本語の勉強をしてから、京大に来た。京都は東京と違い、物価もほどほどで、又大学と町が近く便利であるので京大を選択した。現在学部の3回生である。勉強はまずまずで自分の中では部活(合気道)が大きなウェイトを占めている。朝5時からランニングがあり、放課後も練習と大変であるが、礼儀や先輩後輩の関係、飲み会の事などを教えてもらった。又皆と一緒に困難を乗り越え最後までやり遂げることを体験できたのは大きな収穫である。今週から週3回実験が授業に入り楽しい。

**SUBRAMANIYAN PARIMALAM SUBHATHIRAI (SUBHA通称) さん**

京大院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻 ナノシステム創成工学講座 ナノメトリックス工学分野の生体高分子を対象としたマイクロTASシステムの構造と原理に関する分野の小寺研究室で、細胞レベルから生体機能のシミュレーションに関する研究をしている。2016年3月28日に平成27年度工学研究科長賞を受賞した。

例会では彼女はパワーポイントで説明するつもりだったが機器の都合で出来ず、さらに彼女が所属する研究室のスタッフは男性ばかりなので日本語で会話する機会が殆ど無く、英語での説明だった。科学の先端をゆく高度な専門研究については残念ながら十分に理解できなかった。インドでは病院で医師として働いていたとのこと。

6月例会の直前の6/10-12に彼女がpresented at The 2016 International Conference of Microfluidics, Nanofluidics and Lab-on-a chip 等の記事が小寺研究室のホームページに見受けられた。

来日前は、日本には侍や忍者がいて研究室の先生も忍者と思っていたとのこと。未だに日本がそのように見られていることに私たちの方が吃驚した。

自己紹介が一巡したところで司会による質問に答えるという形で会は進められた。  
[質問] 京都は環境的にも良いとのこととで留学先を選択されたようですが、京都での暮しで困った事や、がっかりしたことは？

[答え] 交通費が高い(乗り換えが出来ない。韓国では目的地まで100円で行くことが可能)。バスの混雑(観光客が多いので仕方ないが) 着物姿が少ない等

[質問] 学資や奨学金の利用は？

[答え] 日本の文科省の給付型奨学金(月額14~15万程度)を受けている人や企業の奨学金等を受け比較的恵まれた教育環境にあるように思えた。

韓国の奨学金制度は学業成績でなく両親の所得で判定されるので頑張っても奨学生になれない。大学の授業料は大学に申し出れば免除される。

アルバイトをすることもある。

[質問] 健康面については？

[答え] 全員健康。

時には、受診することもあるが、病院の通院に時間がかかることや診療時間の制限もあって利用し難いのが困る。全員が国保に加入。

[質問] 日本の学生についての印象は？

[答え] 頭がよく優秀なのに結婚や育児で簡単に仕事や研究を辞めるのが不思議。韓国はクオター制の導入以来、職に就く女性が多い。育児には家族のサポートが大きく、育児

が理由の離職は殆どない。

[質問] お国における女性のステータスについては？

[答え] 韓国は出産休暇の保障もあり、頑張って働きたがる。男性が育休を取ることもある教職に就職するのは大変難しく、特に小学校の一年生を担当する人は高校や大学で優秀な成績の人しかねない。韓国では要求があるとすぐデモ。女性の問題でも男性と一緒にデモをしたり、意見も出してくれる。

ベトナムは共働きをしないと生活できない。

中国は地域によって差があるが、育児による離職は歓迎されない。

インドは階級によってずいぶん違うが、全体的に女性は優遇されている。

## 第1回例会 NO.2

[司会] ホストファミリーの方からも何かお話を頂きたい。

[ホストファミリー]

留学生のお世話をしていると世界の状況が良くわかる。表面の付き合いでは見えないことが、留学生やその家族との付き合いでその国の本当の姿がみえてくる。例えばベトナムでは、ベトナム戦争について日本人の方がよく知っているような状態である。

留学生は日本人と違ってキャラクターが強い。日本人は何かにつけて出来るといわず頑張りますというが、外国人は腕を磨いてその能力が相手に充分役立つことを前面に押し出してくる等日本人ととても違うことを実際に接触していると感じられる。最近カーフの会のホストが減って来ている。皆さん方の協力をお願いしたい。



[西会員] 1984年にカーフの会を設立し、沢山の留学生のお世話してきた。以前は私達の会も半数余りの会員がカーフのお世話をしていたが、会員の高齢化と留学生への支援活動の内容にも変化があつて減少している。



(注) カーフ (KAHF) Kyoto Association of Host Families 留学生支援組織のこと

[質問] 将来に対する希望は？

[答え]

SUHBAさん…インドの自分の州にinstitute を建てたい。又、認知症を医学的な面から研究したい。

周さん…故郷は中国であるが、母も呼んで日本で生活したい。そして子供に関わる仕事をしたい。

金さん…人に役立つロボットの研究をしたい。会社の上席で活躍している叔母のキャリアまで自分も頑張りたい。

HAIさん…まだ何をやりたいかわからないが、自国で学校を建てたり、宇宙の研究もしたい。

最後に高橋副支部長よりホストファミリーの方々への感謝と留学生の前向きな姿勢に感心した。兎角元気がない日本の学生に皆さんの存在が良き刺激になることを期待している旨の挨拶があり、会を終了した。4名の留学生からは、思ったことを自由に楽しく話すことができよかった。よい機会を与えていただき感謝するとの感想が寄せられた。



## II 2016年度全国総会の報告

総会 2016年5月22日（日） 会場 神戸ポートピアホテル

出席者 8名（亀田、大久保有美、高橋、竹内、中村、廣田、松尾、松田）

### 1. 総会報告（高橋）

中村久瑠美会長の再任の件。JAUW 70周年記念行事（11/12～13）。2017年度全国総会は横浜市で開催、等々の報告があった。

記念講演：楽天社長三木谷浩史氏【楽天のダイバーシティとイノベーション】

### 2. 神戸市・周辺の研修旅行報告（松田）

## III 国際委員からの報告（阪田、中川洋子）

フィンランド ラーティ支部のペリニエム会員ご一家が6月20～25日に京都に滞在するというメールが阪田会員(国際委員)に入った。急な連絡であったが、阪田、中川洋子両国際委員のほか3名が対応することになった。

次回 第2回例会 予告 ぜひお越しください。

日時 9月24日（土）13:30～15:30

会場 ウイングス京都 会議室2

講演会 人工知能に関する話題

講師 篠田正人氏（奈良女子大学教授）

#### 4. 第2回例会を 開催しました

2016年9月24日

日 時 2016年9月24日（土）13:30～16:30

会 場 ウィングス京都 2 F 会議室 2

参加者 22名（会員16名、一般6名）

内 容 I、講演 人間の知性を超える人工知能 —ある勝負の記録—

講師 奈良女子大学大学院自然科学系教授 篠田正人先生

#### II. 活動報告と連絡事項

##### ◆ 久保宜子支部長挨拶 司会・中川慶子

熊本や岩手などの地域の災害に心痛む昨今ですが、一方リオオリンピック・パラリンピックでは世界の多くの国から集まった人々の間に流れた爽やかな友好の風が今後も吹き続けて欲しいものです。昨今はコンピュータに支配されているような日常で、知らないでは置き去りにされるような不安もあり、いろいろ学ばせて頂ける今日の機会を嬉しく心待ち申しておりました。

##### ◆ 講師 篠田正人先生の紹介

東京大学理学部数学科ご卒業後、大学院数理科学研究科修士課程修了

1994年9月 博士課程中退、10月奈良女子大学理学部助手に就任

2012年 奈良女子大学理学部教授就任。専門は確率論

ご趣味の将棋はプロ級で、学生十傑戦で優勝、全国アマチュア竜王戦でも優勝の実績をお持ちで、電王戦の解説や著書も出されご多忙にご活躍です。

#### I 講演 『人間の知性を超える人工知能—ある勝負の記録—』

先生からいただいた講演のレジュメは下記の通りです。大変明快に且つ丁寧にまとめてありますので、充分ご講演の内容をご理解いただけますが、質問も沢山出ましたので、質問や意見、ご講演中のエピソードや専門的な内容をミックスして、レジュメの後に報告として項目別にまとめて付記しました。いろいろの内容の質問に今日の講演への皆の関心の高さが感じられました。

#### 【レジュメ】

私（講演者）が子供の頃、将棋がとても好きでしたが近くになかなか相手がおらず、将棋の勉強法は本を読むことがもっぱらでした。ある日見た漫画「ドラえもん」の「ひみつ道具」に『この機械があれば、相手がいなくても将棋ができる。コンピュータで強さを調節できる』という「セルフ将棋」が描かれていたとき、本当にこんな道具があれば楽しいだ

ろうな、と思ったものでした。

コンピュータ将棋略年表

年	
1949	(コンピュータチェスの最初の論文が発表される)
1967	コンピュータに詰将棋を解かせる試みが始まる
1974	コンピュータ将棋の開発が始まる
1985	「森田和郎の将棋」が発売される
1986	「コンピュータ将棋の会」発足 (翌年「コンピュータ将棋協会」と改名される)
1990	第1回コンピュータ将棋選手権開催(参加6プログラム)
1997	(「Deep Blue」がチェス世界チャンピオンを2勝1敗3分で破る)
2001	第11回コンピュータ将棋選手権に史上最多の55プログラムが参加する
2005	「激指」がアマチュア将棋竜王戦全国大会でベスト16に入る 「Bonanza」が公開される 将棋連盟が、プロ棋士とコンピュータ将棋の対戦を許可なく行うことを禁じる
2007	「Bonanza」が渡辺明竜王と平手で対戦し敗れる
2008	「激指」「棚瀬将棋」がアマチュアトップを破る
2009	「Bonanza」のソースコードが公開される
2010	「あから2010」が清水市代女流王将を破る
2012	第1回電王戦で「ボンクラス」が米長邦雄永世棋聖を破る
2013	第2回電王戦でコンピュータ将棋チームがプロ棋士チームを3勝1敗1分で破る
2014	第3回電王戦でコンピュータ将棋チームがプロ棋士チームを4勝1敗で破る
2015	電王戦 FINAL でプロ棋士チームがコンピュータ将棋チームを3勝2敗で破る 情報処理学会「コンピュータ将棋プロジェクト」終了
2016	(囲碁プログラム「AlphaGo」がイ・セドル九段を4勝1敗で破る) 第1期電王戦で「Bonanza」が山崎隆之叡王を2勝0敗で破る

2016年9月24日(土)「人間の知性を超越するコンピュータ--ある勝負の記録--」講演資料

コンピュータに将棋を指させる試みは1974年に始まりました。将棋は手順のパターンが $10^{220}$ 通り、局面のパターンが $10^{69}$ 通りあると概算されており、コンピュータをもってしても強いプログラムを作ることは困難だろうと言われていました。ドラえもんは22世紀のおはなしという設定になっていますが、強いコンピュータ将棋もその時代まで待たなければならぬと思われていました。そして、「コンピュータが人間のチャンピオン(名人)に勝つことは永久に不可能である」という意見が、1990年頃まで多数を占めていました。

しかし21世紀に入り、「局面評価」や「探索技術」の向上によりコンピュータ将棋は急激に強くなりました。中でも2005年に公開されたプログラム「Bonanza」が用いた機械学

習の手法は革命的で、その後数年でプロ棋士を脅かす強さになりました。「コンピュータは人間よりも強いのか？」という世論の盛り上がりもあり、2012年からプロ棋士とコンピュータ将棋プログラムが対戦する「電王戦」が始まりました。そこでもコンピュータ将棋は強さを見せ、棋士を何度も負かし、2016年現在ではすでに名人を超えているのではないか、という意見が大勢となっています。そしてお隣の囲碁界でも、2016年にGoogle社が開発したAlphaGoが同じように人間のトップを超えようとしています。こちらは「深層学習 (Deep Learning)」という技術が用いられていて、日々さらに強くなっていくそうです。

さて、私が子供のころから夢見ていた「将棋を指すコンピュータ」はこのように実現しました。しかし、いざ出来てみると、それを快く思わない人も少なからずいることがわかりました。「人間を負かして楽しいのか」「棋士の仕事を奪うのか」「そんな機械を開発してなんの意味があるのか」……。将棋で人間がコンピュータに負かされるくらいは当たり前で大了なことではないように思われるかもしれませんが、いろいろな議論が巻き起こりました。いま将棋界はコンピュータ将棋により大きな影響を受け、プロ棋士の存在意義が問われています。

こうした軋轢は、今話題の「人工知能」の進展の様々な場面でも必ず現れます。車の自動運転や医療診断、感情認識ロボットなど、便利になる一方で人々は嫌悪感や畏怖を感じることもあります。「機械が人間を超える」そのひとつの例として将棋界で起こったことをお話ししたいと思います。

以上、レジュメ終わり

以下、報告です。

## 1. 将棋とは

将棋や囲碁のゲームは基本的にどちらも相手との指し手の繰り返りで、組み合わせ数が天文学的数値でなかなか最後まで探索しきれないゲームである。

将棋は 盤面が9×9、駒は8種類、相手の王を捕まえる。

囲碁は 盤面13×13 石は黒、白の2種、陣地を取る。

やり方が違うが、どちらも ①運の要素が入らない ②パターン数が非常に多いことが特徴。

ゲームにおけるパターン {状態空間} 数は 将棋… $10^{69}$  囲碁… $10^{171}$

スパコン京の計算能力は、1秒間に $10^{16}$ 回、1年で $10^{21\sim 22}$ 回、1億台で $10^{30}$ 回

## 2. コンピュータ将棋の歴史

1974年 早稲田大学の滝沢教授により研究が始められる。商品化は11年後。当時の風潮

として将棋はパターン数が多いからコンピュータは人間に勝てないといわれていた。

海外では1968年にコンピュータチェスが開発され、AI業界では大きな出来事であった。

1990年 初のコンピュータ将棋の選手権。この時期ではコンピュータは殆ど人間に勝てず。

1995年 コンピュータがアマの棋士の初段の実力を持つ。

この時期、大山名人が「コンピュータはミスがないから将来必ず人間に勝つ。だからコンピュータに将棋をさせてはいけない。棋士の生活を脅かす事となる」と。しかし多くの棋士はこれを否定した。

羽生棋士は「コンピュータがプロ棋士を超えるのは2015年」と予想した。理由はコンピュータの性能の進歩とプログラムの改良でと。結果的には彼の予想が当たったが、20年前何を思って彼がそのように言い切ったのか？

2005年 コンピュータ将棋はアマ5段の実力を持ち、アマ将棋全国大会でベスト16に入る。この時の解説は篠田先生、先生の実力は2800点台で、2008年頃にはコンピュータに抜かれたと実感されたとのこと。

2006年 2000年代に入り将棋ファンが急増、コンピュータ将棋との対戦で人間が負ける場も出て来た。これを案じた将棋連盟が勝手に対戦して負け、人間の方が弱いと言われるのは心外だと対戦禁止令をだす。

2008年 コンピュータ将棋がアマトップを破り、いよいよプロの出番となる。

2010年 清水市代女流王将が「あから2010」と対戦。

この時、彼女1人が173台のコンピュータと対戦した。何故初めてのプロとコンピュータの戦いに女性王将を当てたのかと同じ女性として何となく気持ちがひっかかった。この時の対局条件に付いて公平かどうか等が問題になった。

2012年 第一回電王戦に引退プロの米長棋聖が対戦したが、対人の時と違う指し方で物議を醸した。

2014年 第3回電王戦では東大の670台のコンピュータ（1秒間に3億手を読むことが可能）を接続した。条件の違う人間とコンピュータのゲームで公平な条件とは何か等問題もあるが、コンピュータが人間を越したとの認識を情報処理学会は持った。



### 3. コンピュータ将棋の原理

① 5手先、10手先を考えてどの手が一番良いかを判断する。コンピュータは人間のように有利な指し手を判断できないから、評価関数を作ってその値の大小で次の指し手を絞っていく。

② 駒に点数をつける。また場の状況（駒の位置）にも点数をつけ、それらの点を合計し価値の高い駒を沢山持っている方が有利となる。計算はコンピュータの得意とするところでありコンピュータの利点を活用できるが、点数を付ける所が評価関数の難しさである。現在では、過去の5万局の将譜というビッグデータにより数億個のパラメータを機械学習により調整し、点数を少しずつ調整する様に多変数関数の理論を導入するなどコンピュータ将棋には大学の研究者が多い。学問として研究していたことなどが強くなった原因のひとつである。



### 4. 人工知能 (artificial intelligence、AI) 研究の流れ

人工知能の歴史は人間の知的な活動を懸命に真似しようとしてきた歴史ともいえる。人工知能の実現により便利で豊かな未来を夢見て始まった研究で、22世紀のロボットとして設定された『ドラエモン』の秘密兵器の一つがコンピュータ将棋であった。

1956年 初めて人工知能の言葉が登場。人間のように考える機械を人工知能と呼ぶことにしたとのこと。世界初の電子式コンピュータ（巨大な計算機）の誕生でコンピュータが何時か人間より賢くなると思われた。しかし期待を実現するには様々な難関が有りブームと谷に、もまれながら現在の第3次ブームに到り世の中いたるところに人工知能を名乗る製品の出現や話題の様々があふれている。

第一次ブーム 1960年代 専ら推論と探索の時代と言われ、人間の思考過程を記号で表現。やがて実現するという楽観的予測で野心的研究が行われた。

第二次ブーム 1980年代 コンピュータ性能の急速な進歩で人工知能の可能性が強くなったものの複雑な現実問題には対応できなかった。この時期は、主として大学の研究者の間で研究であった。

第三次ブーム 2015年～現在 ビッグデータによる機械学習、deep learningによる技術革新でグーグルの自動運転車、感情認識が出来るロボット・ペッパー君の出現、IBMの人工知能ワトソンのクイズ王獲得、医療診断等急速に進展してきた人工知能現象を良しとするか、どうか？ 人工知能に対する不安等様々な反応がでる。

## 5. 強いAI と 弱いAI弱いAI…人間の真似をするAI

強いAI…人間の能力以上に高度なものが出来るAI。2045年頃には技術的特異点に達し人間を超えて人間を脅かす存在になるなどの憶測もある。

## 6. 今後の問題点

① 人間不要論…コンピュータ将棋の初めころは人間がプログラムを組んだ。プログラムは、ひたすら強いプロ棋士の指す手順を勝負の記録から取り真似をしていた。最近ではコンピュータ同士が勝手に将棋をして学習し強くなっていく。一晩に一億局は勝負できるので強さの習得ができやすい。人間は不要である。このことが将棋界だけの事なら問題ないが、将棋界以外にも出てくるとどうなるか。

② 進行の速さ…22世紀のロボットという設定であったドラエモンが100年先でなく僅か40年で実現した。30年先と予想されていたコンピュータ碁（Alpha碁）が1年で世界3位のイ・セドルに勝った。

③ 人工知能の発展で便利になったが果たしてそれで我々は幸せか

④ 判断が苦手なAIの問題…判断を必要とする医療で医療診断をするシステムができたとの事であるが、裁判や政治の世界まで入りこんで来たらどうなるか

⑤ 芸術分野へのAIの進出の可能性…AI がするから価値がないとは言えない。何を目指すかは人によって違い評価も様々である。

⑥ 人間の全面的な能力の退化への懸念…人間が今のように身体的や頭脳を使わないで済む状態が出てくれば退化するのは当然

⑦ コンピュータのミスのなさ…どんでん返しがなくなりゲームなどが面白くなるのでは？ 但しコンピュータのプログラムを作っているのは人間であるからコンピュータ将棋でミスが絶対ないとはいえない

⑧ AIが仕事をする事で、なくなる職業の問題…20年後には現在の半数近くの職業がなくなると予想され、リストも現われている。

⑨ AI 世界での日本の評価…日本はアイデアは多いが、それを実証して形にするための経済的基盤が弱いので世界でのランキングは高くない。優秀な人はアメリカに行って研究することになる。コンピュータソフトの開発費用…主として個人持ち。大学の研究費は使えない。

⑩ 2017年の羽生三冠王とコンピュータ将棋の対戦成績の予想…シビアなところ勝率予想は5%。彼が何を考えて対局するのか？

今年の高校入試にプロ棋士がコンピュータに負けた記事が取り上げられて吃驚の話題も

ある昨今である。強いAIが、一方的に発展し人間の手に負えないものの出現への興味と同時に不安が一般の人間のみならず、AI開発者の間でも取沙汰されて、倫理委員会がつくられている。



講演の最後のまとめとして

「将棋が強くなることが夢であった。ロボットが出来、強くなった結果は単純に嬉しいだけではなくなった。強いコンピュータ将棋が出来るといふ未来がもっと向こうになると思っていたが進化は思ったより早い。」と強調されて締括られた。

高橋侑子副支部長の閉会挨拶

先生のご専門と趣味の表と裏からの解説で大変楽しかった。機械が何をしているかがよく判った。楽しさや面白さはあまり中身を知ると減ってしまうというが、今日はいろいろ判って楽しかったです。が、人間とは何かを改めて考えさせられました。

## II 支部活動報告と連絡事項

i、会長交代の件 中村久瑠美氏 → 鷲見八重子氏

ii、70周年記念セミナー11/23 申込みは各自で締切10/20

iii、国内奨学生応募の件

7/23 23大学に書類発送 応募 一般奨学生5名 安井医学奨学生2名

9/6 支部選考会 一般奨学生に 下記3名を推薦

同志社大学院 矢内真理子さん

京都府立医科大學院 大藪千香子さん

立命館大学院 山上亜紗美さん

iv、会員動向 村澤民子氏 今年度末で退会。賛助会員についての検討。

v、国際委員報告 フィンランド ペリニエミさんの京都訪問についての礼状

vi、11月例会の見学先の件 予定の京都迎賓館は11/20 まで閉館が判明。その後の日程も不明のため今年度の迎賓館見学は見送り、見学先を銀閣寺に変更することを協議。

詳細はメール等で後日通知。

vii、次回役員会 11月例会の行事終了後、2017年新年会の検討。

## III 第3回例会の詳細が決定！ 多数ご参加ください！

日時 11月16日（水） 集合11時 銀閣寺門前

行き先 銀閣寺散策

会合・食事 白沙村荘はしもと

会費 2500円

以上

## 5. 香港大学女性協会JuliaWoo会長が京都支部を訪問

2016年11月16～17日

香港大学女性協会のJulia Woo会長が、11月12日のJAUW創立70周年記念祝賀会に海外からの来賓として出席され、その後、神戸支部の友人たちと有馬温泉にお泊りになるが、そのあと16日、17日と京都の観光を希望なさっているので、お世話をしてもらえないかと、本部の山下国際委員から廣田会員に依頼があった。廣田会員は、17日は個人的にご案内できるが、16日は都合が悪いということで、彼女から久保支部長に、その日は支部がお世話をしていただけませんか、との問い合わせがあった。支部長は、その日は丁度支部の11月例会で銀閣寺庭園の散策が予定されているので、そこにご招待して、お昼をご一緒しながらお話をさせていただき、交流のひとつを持ちましょうということになった。

送られてきたJulia Woo（吳寧）会長の履歴書によると、彼女はアメリカの大学の心理学部を卒業し、教育学の修士号を取得したあと、1973年に香港に帰国し、それ以来34年間、香港中文大学の医学部を始め幾つかの学部の事務局長を勤め、2007年に退職。中国本土からの学部生を同大学に受け入れる組織の上級顧問として、退職後は特に、その活動に積極的にかかわっている。

香港大学女性協会（HKAUW）との関係では、1980年に入会后、2004－2008年と2013－2015年の2度会長に選ばれ、現在は、2017年に創立60周年を迎える協会の新しい会長を選出するまで会長代行として活躍している。その間、国際委員、地域社会奉仕活動調整委員も務めた。

Woo会長が京都で何をなさりたいのかを前もって知りたいと思い、会長は携帯をお持ちではないということで、連絡係の松村理事の携帯に電話をするが、いつも留守電で、返事なし。しかし15日の夜やっと連絡が入り、16日の朝11時に新幹線京都駅に到着するので、出迎えをよろしく、列車に乗り込んだあと何号車に乗ったかをお知らせする、とのことだった。こちらからは国際委員の阪田・中川がプラットフォームでお待ちする。会長の名前を書いた旗を持って行くが、彼女にはなにか目印になる特徴はあるかとお聞きすると、黒縁のメガネをかけた小柄な方だとのこと。

プラットフォームで無事彼女を見つけ、タクシーで京都東急ホテルに行き、荷物を預け、銀閣寺道のお食事どころ「はしもと」に直行した。銀閣寺庭園の散策を終えた会員が帰ってきて、全員14名が揃ったところで、お食事が始まった。会長は天ぷら、刺身はご存じで、香港でも時々召し上がるとかで、大変おいしいとおっしゃっていた。食事が終わったところで、久保支部長が会長の紹介をして、会長の話が始まった。以下がその要約であ

る。

#### Julia Woo会長のお話

私は香港大学女性協会会長のJulia Wooです。本日は京都支部の例会に お招きいただき大変感謝しています。私はJAUW創立70周年記念祝賀会に海外からのただ1人の来賓として招待されました。実は香港大学女性協会は来年2017年に創立60周年を迎えます。そのことをJAUW会員の皆さまにお知らせする目的もあって出席いたしました。現在大学女性協会は世界的に会員の高齢化、会員数の減少で、その活動が危機的な状況にあります。香港大学女性協会も例外ではありません。香港では若い世代の女性は殆どが仕事をもっているため、それも若い女性が入ってこない理由の1つです。現在会員数は名目的には500名ほどですが、実質活動しているのは100名ほどです。支部はありません。

私はいままで香港大学女性協会の会長を2度務め、この問題に頭を悩ませてきました。私の考えでは、この問題の原因の1つは、若い世代と年を取っている世代との間の意思疎通ができていないことではないかと思われます。私はいま協会の60周年記念祝賀大会の準備で忙しくしていますが、その行事に、アジア大学女性協会の会員が参加するワークショップを加えています。そこではどうすればこの意思疎通のなさの問題を解決して、若い世代の女性に入会してもらえるかを話し合いたいと思っています。

60周年記念祝賀会には、現在イギリス、カナダ、その他多くのアジアの大学女性協会会員の参加が決まっています。日本からもすでに10名が参加して下さることが分かっています。ケープタウンと違い、香港は3時間半ととても近い場所にありますので、どうぞ京都支部からも参加して下さるようお願いいたします。ご清聴をありがとうございます。

#### Julia Woo会長・・銀閣寺散策とお買い物

会長のお話しが終わり、久保支部長のお礼の挨拶のあと、会は解散となった。会長に何をなさりたいかを聞くと、寺院拝観と、自分は書と墨絵が趣味なので筆と紙が買いたい。それと日常使う大ぶりの茶碗がほしい、ということだった。彼女は京都は初めてなので、金閣寺、竜安寺か、二条城にお連れしようと思ったが、銀閣寺庭園を散策した皆さんのお勧めで、改装なった世界文化遺産・銀閣寺の庭園散策に出かけた。素晴らしい秋晴れの午後、彼女は赤から黄までさまざまな色の美しい紅葉に感動して、写真を撮り続けていた。香港では秋は最低気温15度ぐらいだから、このような美しい紅葉は見られないとの事だった。

そのあと、筆、紙、茶碗を買うために、寺町二条に行き、そこで中村・松尾・多田会員が合流して、彼女の買い物のお手伝いをして下さった。紙、筆を買った「柿本」が450年の歴史を持つ老舗だと知ると感動していた。私がなぜ中国が本場の筆や紙を日本で買うのかと聞くと、中国共産党は自国の伝統工芸の保存振興には全然熱心ではなく、粗製乱造の品を平気で輸出している、と中国の現状を嘆いておられた。大き目の茶碗については、明るい臙脂の辰砂のうわぐすりが全体にかかった抹茶茶碗が気に入り、それを買った。それは使わないで、部屋に飾っておくとのことだった。買い物にすっかり満足なさったようで、そのあと一保堂の喫茶室で、お薄と和菓子をいただき、5時頃お別れをした。ずっとおしゃべり続けてもお疲れの様子もなく、来年の60周年記念大会には是非来てください、と繰り返しおっしゃりながら、お帰りになった。

彼女は見るものすべてに関心があり、さまざまなことを聞かれた。たとえば、銀閣寺では多くの修学旅行生徒のグループがいたが、全員お行儀がよく、交通道徳をよく守って、整然と歩いているのに感心したらしく、日本の子供は何歳くらいから行儀を習うのか、と聞かれ返答に困った。

Woo会長が来日する直前に、香港独立を標榜する政党の議員2人が選挙に当選したが、中国が、香港議会の頭越しに、彼らの資格を取り消す判断をした事件があり、香港では中国不信が広がっていると新聞で読んだが、と彼女に聞くと、中国からの独立論は主流ではないが、中国との約束で、「一国二制度」のもとで香港の資本主義と高度の自治が保障されているが、中国が膨張主義路線を取っていくなかで、いつまで守られるのか心配になる、とおっしゃっていた。お別れをする直前に、あの2人の議員は香港議会からも追放されたと今スマホに知らせが入った、と彼女から知らされた。急速に中国が強国になっていくのは本当に怖いことだろうと思う。